

●取組みの実施体制について

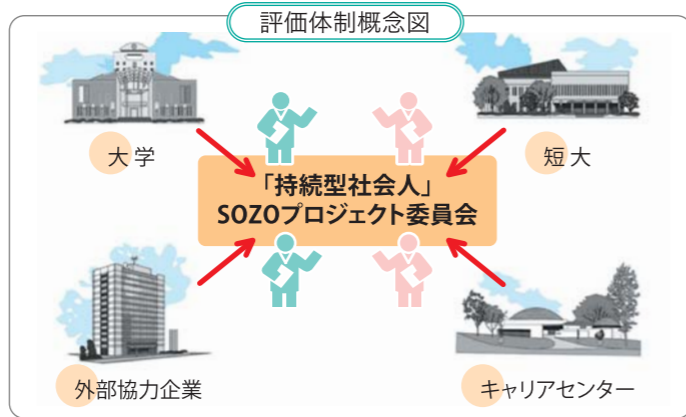
就業力育成の中心的な役割を担うプロジェクトの運営には、教育スキルが強く求められます。今回の取り組みでは、教員の役割は専門教育を担当するだけでなく、学生の就職を視野に入れた教育と教育スキルが必要であるとの認識を持っています。これには、教員の教育に対する意識改革とともに学生の就業力を高めるための教育スキルの向上は不可欠であると考えています。このためには、これまでのFD活動の仕組みの中に、教員のこのようなスキル向上のプログラムを取り入れる体制の構築を計画化する予定であります。具体的には、これまでの実施している教員間の授業参観・評価に加え、他大学のベストプラクティスの検討・取り入れ、教育科目の内容まで踏み込んだ議論の場の設置、外部企業人や高校の教員による授業内容に対する検討会の導入などを予定しています。

●評価体制について

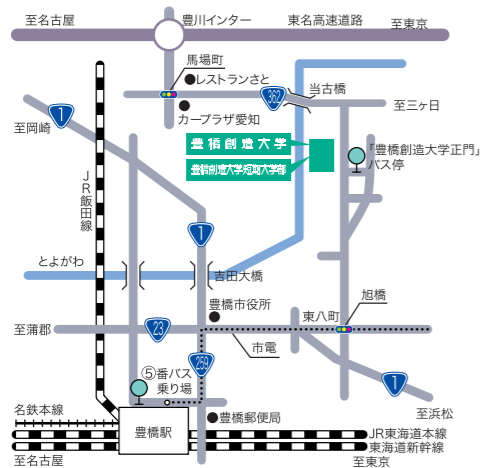
取組の評価体制については、「『持続型社会人』SOZOプロジェクト委員会」の中で自己点検・評価を行い、さらにその結果を全学のFD委員会で評価をおこないます。

『『持続型社会人』SOZOプロジェクト委員会』の各担当がそれぞれの分野において明確な達成目標を設定し、月1回のミーティング時に進捗状況の共有と共に現状を分析して柔軟に修正・改善を行っていきます。

委員会の決定事項はメールや携帯情報端末等を通じて関係者に迅速に共有されます。取組期間終了後においても評価体制は一定期間これを維持し、5年間の取組に関する総括レポートを委員会が中心に作成する予定です。取組の成功と失敗を明確にし、本プロジェクトのナレッジとして広く関係者が共有すると共に次回への施策に活かすものとします。



豊橋創造大学 アクセス



[交通案内]

- 豊鉄バス 豊橋駅⑤番乗り場から乗車(所要時間15分)
「豊橋創造大学正門」下車、徒歩1分
(土・休日のみ「創造大東」下車、徒歩1分)
- 豊川インターチェンジより車で約15分

SOZO 豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

- 情報ビジネス学部 キャリアデザイン学科
- 短期大学部 キャリアプランニング科

GP
就
業

時代 ひと
に向き合う。 に向き合う。

文部科学省 大学改革推進事業
平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」採択

持続型職業人
SOZOプロジェクト

カ
GOOD PRACTICE

SOZO 豊橋創造大学
豊橋創造大学短期大学部

- 情報ビジネス学部 キャリアデザイン学科
- 短期大学部 キャリアプランニング科

持続型職業人SOZOプロジェクト



4つの取組みを柱として 社会的・職業的・自立に繋がる学生の就業力を育てます



ご挨拶



事業推進代表者
学長 伊藤 晴康



事業推進責任者
情報ビジネス学部
学部長 佐藤 勝尚

豊橋創造大学は、藤ノ花学園の実践的教育の伝統を現代に活かし、創造性豊かで人間味あふれる次世代社会の担い手を育成すべく、平成8年に設立されました。今般実施される「[持続型職業人]SOZOプロジェクト」は、まさに学園建学の精神を体現した教育プログラムであります。社会に巣立つ一歩前の段階の学生として、自らを鍛え、IT技術を活用しながら地域社会との緊密な連携の上に実社会での問題解決を教育に取り入れる取組は、有効なキャリア教育となることを確信します。この取組を通して、地域の将来を担う、たくましい若者が育つことを期待します。

多くの人が職業選択を考える最初の段階は、10代の終わりごろからです。この時期の過ごし方は、将来の就業感に大きな影響を与えます。専門分野での教育がちょうどこの時期になるからです。この時期から、自分なりのビジョンを持つ必要性が圧倒的に高くなります。ビジョンは、21世紀の先の見にくい職業生活において、どちらの方向に進むべきかを定める手助けとなり、また、目標に到達するには何が必要かの手助けとなります。将来を見据え、ビジョンを基にこの時期にしか成しえない現実の行動をとる勇気を持たねばなりません。本学の就業力育成プログラムは、ごく近い将来学生が就業の場面において経験するであろうさまざまなことを疑似的に体験したり、それらに関する知的理解を得させるものであります。このプログラムで多くを学ぶことを期待します。

取組名 「持続型職業人 SOZOプロジェクト」

【取組概要】「持続型職業人SOZOプロジェクト」は、豊橋創造大学と同短期大学部が共同で推進するメンタル面とスキル面との両方の強さを備えた職業人育成を目的としたプロジェクトです。

●メンタルタフネスの育成

ストレス対応法、セルフモチベーション、メンタルタフネスを活かすビジネス研究講座、目標設定などの理論的背景と実技演習を組み合わせて学生自身の経験知を高める教育プログラムを開発・展開します。

●実践的スキルのブラッシュアップ [プロジェクトマネジメント体験]

学生自身が企画・立案・運営する「創造プロジェクト」を推進し、プロジェクトマネジメントを通じて学生自らが気づき・学ぶことが出来る場を提供します。また、プロジェクトを円滑に進めるためのプロジェクト管理システムを開発・運用します。

●ユビキタスキャンパスの始動

学生一人ひとりに携帯情報端末を貸与するとともに学内のIT環境を整備し、学生の情報活用能力の向上を目指します。また、携帯情報端末アプリケーションおよび、WEBサイト・データベースを開発・運用し、大学と学生をインタラクティブに結ぶユビキタスキャンパスを実現します。

●大学コミュニティを活用した社会人基礎教育の展開

これまで輩出した卒業生との人的ネットワークを再構築し、社会活動の豊富な卒業生と在学生との交流を推進することで、学生の社会人を養成する事業を展開します。

達成目標・成果等

- | | | | |
|---------------------------------------|----------|----------------------------|----------|
| ① 取組を履修した学生の数 | 学生の90%以上 | ⑥ 卒業後、1年以内の離職率の減少 | 就職者の1割以下 |
| ② 最終学年在籍者のうち、就職希望者数(割合)の増加 | 85%以上 | ⑦ 卒業後、2年以内の離職率の減少 | 就職者の2割以下 |
| ③ 最終学年在籍者のうち、就職希望者のうちの就職者(内定)数(割合)の向上 | 95%以上 | ⑧ 卒業後、3年以内の離職率の減少 | 就職者の3割以下 |
| ④ 当該年度卒業者のうち、就職者(内定)数(割合)の向上 | 75%以上 | ⑨ 卒業生紹介求人数の開拓 | 年50件 |
| ⑤ 最終学年在籍者のうち、就職も進学も希望しない者を減少 | 10%未満 | ⑩ 学生の講座・プロジェクト満足度調査(5.0満点) | 4.5以上 |

メンタルタフネスの育成



メンタルタフネス関連講座の受講を通して、従来の資格取得支援や専門基礎教育といったスキル面だけでなく、自分自身を鼓舞する手法やストレス対処法、自主性、リーダーとして求められるスタンスを兼ね備えた「職業人」の育成を目指します。

ユビキタスキャンパスの始動



プロジェクト参加学生全員に1台ずつiPadを貸与し、情報検索・参照を日常的に体験させることによって、ITリテラシーの習得および情報活用力の向上を目指します。これを支援・促進するための学内IT環境(アプリ開発やWEBサイト構築、eラーニングシステム導入等)の充実化を図ります。

実践的スキルのブラッシュアップ(プロジェクトマネジメント体験)



豊橋地域の多くの皆様のご協力をいただきながら進めている「プロジェクト演習」では、学生自らが「企画・運営・進捗管理・報告の作成」といった4段階のプロセスを通して、具体的な目標を設定したテーマの実現に向けた事業運営への理解を深めます。

大学コミュニティを活用した社会人基礎教育の展開



多くの卒業生を地元へ輩出してきた強みを生かし、卒業生と現役学生の交流を推進します。地元で活躍する先輩の姿から「職業人」として実社会で要求される技量・能力は何かを学生自身が気づく事、就職活動など自己アピールの場での対処法を身につけます。